



# わだしいすき

第47号 平成25年7月11日発行

発行者：NPO法人和田地域づくり協議会『WAO!』

連絡先：住所 南房総市和田町仁我浦206 和田地域センター内

電話 0470-47-3427

## 観光地をきれいに

夏休みを前に、6月29日（土）に地域づくり協議会安心安全部会と花園地区のボランティアの方で、「浜千鳥の歌碑」周辺の散策路の草刈りを行いました。ご承知のとおり海岸の黒松が松食い虫にやられ、草が日光によくあたるようになりました。そのため野バラやススキ、セイタカアワダチソウなどがよく伸び、散策路に覆いかぶさるようになり歩きにくくなっていました。



約2時間の作業でした

観光する場所がこのような状況では残念という声があがり、安房南部林業の許可を得て今回の作業となりました。この日は雨も降らず強い日差しでもなく、絶好の草刈り日(?)でした。散策路の両脇の草を1~2mぐらいずつ刈り、雑木の伸びた枝を少し切り落としました。だいぶ歩きやすくなったと思います。

また同じ日に、花の広場公園「花夢花夢」の植栽が行われました。地域や市職員のボランティア約40人が、マリーゴールドと柴桜の苗を1500本、約1時間半で植えました。夏から秋にかけて、きれいに咲いてくれることでしょう。



もくもくと作業しました

観光は南房総市を支える産業の1つです。「浜千鳥の歌碑」周辺は、以前は観光バスが立ち寄り、観光客が散策している姿も見られたそうです。花夢花夢は、現在でも国道128号を走る車が休憩や食事のために立ち寄ります。草刈りにしても植栽にしても、観光地を少しでもきれいに出来たらとの思いからです。南房総市（和田町）地を訪れた人々が、心をなごませ何度でも訪れてみようという気持ちを持ってくれたら嬉しいことです。

## くじらに関する紙芝居

にぎわい部会では今年度の活動の一つに、クジラについてもっと知ってもらう取り組みをしていこうがあります。今回、生活改善研究グループ・アグリライフ安房で作られた紙芝居を参考に、クジラを使った食育の紙芝居を作ることになりました。現在作成中ですが、その一部をお知らせします。

大豆にはタンパク質、ひじきにはカルシウムや鉄分が含まれています。そしてタンパク質は血や肉、カルシウムは骨を成長させるなど、栄養素と体の働きについて親子の会話をとおして教えていきます。その食材の一つとしてクジラを取り上げるのですが、ちなみに、クジラの肉は鉄分を多く含んでいます。

8月25日（日）に行われる「くじら料理と月見の会」で初演する予定ですので、多くの方々に見ていただきたいと思います。



改良を重ねています

# 初 漁 祭



今年のかじらの初漁祭は、7月2日(火)の早朝6時から行われました。例年より遅いですが、昨年よりは2日早い初漁祭です。この初漁祭を終えるとまもなく、暑い夏が来るように思います。

今回の初漁祭は、前日に銚子沖60kmで捕れたオスのツチクジラの解体で行われました。初めに水産庁の職員が、オス・メスの判別や大きさ、どのようなものを食べていたかなど細かく調べていました。その後解体に移り、捕鯨会社の皆さんが大包丁や小包丁を巧みに使い、部位ごとに分けていきました。

今年度もその様子を、南三原小と和田小の児童が見学しました。解体前のクジラをさわって「やわらかい」「ぷよぷよしている」等の感想を述べていました。見学の後は、漁民館で地域の人達が揚げてくれたクジラカツを食しました。

食した後はクジラについての学習です。外房捕鯨の庄司社長から、ツチクジラは海深く1000mももぐりエサを捕りにいくこと、クジラ漁は1617年ごろから鋸南町で始まったこと、そのころは500人ぐらいの漁師が50隻あまりの船に乗り捕りにいったこと、クジラの骨粉はピロやミカンの肥料として使われていたことなどを学びました。

和田町が全国的に認められるのは、クジラと花ではないでしょうか。和田の子どもたちがこの2つのことをしっかり学び、将来和田を離れても、この地域で育ったことを誇りに思い過ごしてくれたらと思います。



9. 3mのオスでした

## 春の写真展

生きがい部会主催の写真展が行われました。今年度から始まった新しい企画です。周知が十分でなかったためか、写真は11点しか集まらず残念でした。しかしどの作品も応募してくれるだけあって、見事なものが多かったです。来訪者が「春らしい風景だ」「夕日でこんな色があるんだ」等々感想を述べ、足を止めてくれていました。

春と同様に、夏を主題とした写真展を9月に行います。6～8月に和田町内で撮った写真で応募してください。自然の風景でも行事でもかまいません。

大きさは6つ切りワイドやA4判でお願いします。ケースは和田地域づくりでご用意し



アマチュアとは思えない作品

ます。詳しくは、後日チラシを回覧します。

## おみやげ

まもなく夏休みが始まり、帰省する方々も多くなります。その方々に道の駅「和田浦WA・O!」では、おみやげとしてどのようなものが売られているか参考になればと思い、調べてみました。今の時期の加工品では、

1. 鯨ハム(525円)や鯨のうま煮(735円)
2. ぽん酢しょうゆ(398円)
3. 五石のり(350円) などです。

お菓子類では、

1. レモンダグワーズ(1200円)
2. まるごとびわゼリー(1260円)
3. かじらドロップ(380円) などです。

その他、鯨のさしみ(冷凍)やキムチ、金目鯛のひものや味噌も売られているそうです。

WA・O! ならではのオリジナル商品もたくさんありますので、ぜひ一度ご覧になってみてください。



みやげもの売り場の様子